

真崎地区 自治会だより

No.23

発行 平成30年2月25日
編集 真崎地区自治会
(企画・総務部会)

電話 ☎283-4477

真崎コミュニティセンター
mas-comi@vill.tokai.ibaraki.jp

ごあいさつ



真崎地区自治会 会長 大内 隆彦

昨年は、国内外が大変騒がしかった「酉」年でした。今年は子宝や安産、次のステップへの芽生えとなる「戌」年となり、気持ちも新たになっていることと思います。寒い冬ももうすぐ終わり春近しとなってきましたが、如何お過ごしでしょうか。さて、どこの市町村においても起きている少子化や、高齢化率のアップで、これまで当たり前だったことが当たり前でなくなると考えられます。このため住民同士の親睦、地域防災体制の確立、環境美化等の活動を行いつつ、行政に頼ってきたところについて、地域住民が自ら考えて対応して行くことが必要になると考えています。

真崎地区の課題としては、これまで取組んできた自治会加入世帯の加入率が、増加していない状況にあります。今後は中央地区土地区画整理事業の進展により世帯数の増加が見込まれますので、未加入世帯へ時間を掛けて勧誘を行っていきます。また、資源物分別ゴミ回収から得る報奨金は、自治会活動の大きな財源となっていますが、回収量は毎年減少傾向にあります。ゴミゼロ運動と資源物の有効活用が目的ですが、自立した自治活動を実施するためにも皆様のご協力を是非お願い致します。

今年は「村松小学校コミュニティースクール」の立ち上げを計画しています。地域の住民が、児童、先生と一緒に小学校をワクワクする場になるように環境作りを支援していきます。今年も地域で誰もが自分のペースで活動でき、地域住民同士の交流や連携が図れるような活動を継続して行きたいと思っております。

ワクワクFOODフェスティバル2018を開催します！

恒例の「ワクワクFOODフェスティバル」を開催いたします。FOODコーナーでは手作りのカレー、豚汁、お赤飯などの販売を行います。また、村松小吹奏楽部の演奏、おみたまチンドンBANDのアトラクション、豪華景品が当たる大抽選会を企画し皆様のお越しをお待ちしています。ご家族、ご友人お誘い合わせてご来場くださいようお願いいたします。

日 時 平成30年3月3日(土) 午前10時～午後2時
会 場 真崎コミュニティセンター (雨天決行)
FOOD カレー、豚汁、お赤飯、焼きそば、コロッセ、珈琲、たい焼き、ホットドッグ、パウンドケーキなど
催 事 革工芸教室、紙飛行機、竹トンボ、ベーゴマ、包丁研ぎ、アトラクション、クイズ、大抽選会など
同時開催 とうかい環境村民会議によるパネル展示、スポーツ推進員によるニュースポーツ体験



目次

- ・ごあいさつ／FOODフェスティバル … 1
- ・第5回防災訓練 … 2
- ・役員会及び各専門部会の活動報告 … 3
- ・真崎地区社会福祉協議会 … 4～5
- ・青少年育成東海村民会議村松支部 … 6～7
- ・地区内の活動紹介 … 8

第5回 防災訓練 (10月28日)

昨年10月に実施した防災訓練は、5回目となり「自分たちの地域は自分たちで守る」を合言葉に開催することができました。初期消火、発電機操作、避難行動要支援者の搬送、AED訓練、炊き出しなど多くの訓練を体験し防災意識の高揚につながりました。

今回は起震車体験も取り入れ、弱震度から強震度までの揺れを体験することで、地震の怖さを痛感すると共に、地震時の対応と準備の必要性を改めて認識することができました。

毎回実施している「シェイクアウト訓練」には、前年を大きく上回る223世帯、518名の参加があり、「自分の身は自分で守る」の意識の強さを感じました。

また、防災訓練の他、交通安全や防犯パトロールを行い、子供や高齢者を地域で見守る活動にも積極的に取り組みました。



起震車体験



煙体験



初期消火訓練



避難行動要支援者の搬送訓練



AED訓練



飲料水の確保

役員会及び各専門部会の活動報告

地区自治会役員会及び運営委員会

水と緑のある 安心して心豊かに生活できるまち

毎月の定例役員会で、自治会の行事や地域の課題について話し合っています。「健康と認知症」をテーマとして7月と11月に開催した出前講座は、多くの方が参加され関心の高さが感じられました。また、防災訓練では起震車体験を新たに加え、訓練の幅を広げるとともに安全で安心できる地域の防災に取り組んでいます。



出前講座の様子と認知トレーニング

農・工・商部会

地域連携による豊かな生活ができるまちづくり

地区内生産者の方の野菜販売を、毎月第3水曜日(8、12月除く)に真崎コミセン玄関前と舟石川三区集会所で行っています。また、地区内のイベントにも参加しています。新鮮でお安いものをたくさん用意していますのでどうぞご利用ください。



朝市の様子

建設・環境部会

花と緑に囲まれた、快適で環境にやさしいまちづくり

地区内10カ所の花壇に、毎年春と秋に季節の花を植栽しています。今秋は建設・環境部会、地域の団体、子供会の皆さんでパンジー、ピオラ、ノースポールを約2,000株植付けました。これからも、季節を感じるやさしい環境づくりを続けていきます。

また、3月開催予定の「FOODフェスティバル」には昨年に引き「とうかい環境村民会議」と共同でパネル展示を行います。是非ご覧になって、身近な環境問題について考えてみませんか。



植栽の様子

企画・総務部会

地域を愛し、人がつながるまちづくり



企画・総務部会の様子

企画・総務部会では「地区自治会だより」を年3回発行し、地区内の行事の案内や部会、各団体の活動や紹介等、身近な情報をお伝えしています。地域の話題をたくさん掲載しますので、皆さんからのお便りもお待ちしています。

「食」をテーマの中心とした「FOODフェスティバル」は前身から数えて11回目を迎え、真崎地区の恒例行事となりました。伝統と新しい企画を織り交ぜ、楽しいイベントになるよう考えています。参加された皆さんからのご意見もお気軽にお寄せください。

福祉部会 真崎地区社会福祉協議会

長寿ふれあい敬老会 H29. 9. 20 (真崎/荒谷台区)、11. 15 (舟三区)

人生の先輩である高齢者の方に対し、今後の健康と長寿をお祝いすると共に、日頃からの感謝の意を込め「長寿ふれあい敬老会」を真崎コミセンと舟石川三区集会所の2か所で開催しました。

真崎コミセンでは、「シルバーリハビリ体操」で体を動かし、「楽ちん一座」の皆さんの素敵な歌声で楽しい一時を過ごしました。舟石川三区集会所では、区内の皆さんによる和太鼓やコーラス、チンドン披露、クイズなどの演目に大いに盛り上がりました。いつまでも元気で健やかに過ごしていただくことを願っています。



シルバーリハビリ体操と楽ちん一座を楽しみました



最高齢者へ花束のプレゼント



バッチリ揃った和太鼓の演奏



ひまわりサロンのみなさん



本物の大黒様現る?!

世代間交流会 (小学生と高齢者の交流会) H29. 10. 18

子供たちへの地域文化や伝統の継承、高齢者の社会参加や生き甲斐づくりを目的に、地域の75歳以上の高齢者と村松小学校4年生児童、先生、PTA役員、社協関係者が参加して、真崎コミセンで世代間交流会を行いました。子供たちからは歌のプレゼントがあり、高齢者からは生活や農業に使った昔の道具を子供たちに明示し説明をしました。

昼食の準備は子供たちも手伝い、食後はなぞなぞやクイズをとおして会話が弾み、交流を深めることができました。



子供たちから歌のプレゼント



唐箕(とうみ)の実演に興味津々



みんなで楽しく話しました

ふれあい協力員研修会 (調理担当者研修) H29. 12. 8

ふれあい部会では調理担当者研修を年2回実施し、ふれあい食事会や敬老会、世代間交流会での食事の提供に役立っています。保健センターより講師の先生をお招きし、「正しい手洗いの方法」について講話いただき、続いて調理実習を行いました。

今の時期は特にノロウィルスに厳重な注意が必要です。予防のポイントは健康管理、手洗い・うがい、食品の十分な加熱です。

今回の調理実習は「新春おもてなし料理」に挑戦しました。メニューの準備と調理、工程を考えながら手際よく作業して、全6品が完成しました。作った料理はみんなでおいしくいただきました。



きれいに手洗いができています



男性陣も頑張ってます



今日のメニューです

第2回健康ウォーキング H30. 1. 31

保健部会では、健康維持、増進、リフレッシュのための「健康ウォーキング」を年間3回企画しています。

第2回目の今回は、村社協のバスを利用し、雪が降った翌日ですが、25名の参加で元気よくウォーキングしました。

五浦美術館をスタートして、六角堂、五浦岬公園を經由し五浦美術館に戻る約3kmを巡るコースで、潮風の心地よさを感じました。また、今回は「ノルディックウォーキング」の勉強会も兼ねていたので村総合体育館の方にも随行していただき、新しい発見もあったウォーキングでした。



五浦美術館記念撮影



ノルディックウォーキングの様子



昼食は美術館のカフェテリア

地区社協の行事にスタッフとして参加してみませんか！
年金が出たら少し余裕のある時間をうまく使きましょう
問合せは、真崎地区社会福祉協議会事務局 (真崎コミセン内) まで
TEL 283-4477

教育部会 **青少年育成東海村民会議村松支部**

教育部会は、地区小中のPTA（先生と保護者）と共に、青少年育成村民会議を運営し、様々なイベントを通じ、地域ぐるみで青少年の健全な育成を図ることを目的に活動を進めています。

釣り大会 10月8日(日) 参加者総数 159名 **中央排水路**

今年も恒例の釣り大会を開催しました。昨年のような雨の心配がなく、絶好の釣り日和での開催となり釣果が期待されましたが、今年魚は手強く、良いポイントを探して移動する子供たちが多かったようです。参加児童57名のうち釣れたのは20名に留まりましたが、そのような中でも巧みに7匹を釣り上げた3年生、4匹を釣った3年生等が大漁賞を獲得しました。大物賞は、32cmの鯉を釣り上げた3年生や24cmを釣った6年生が獲得しました。釣り大会終了数分前の釣果で大物賞を獲得した子供もいて、周りの人たちと喜び合う姿も見られました。今年も、低学年の入賞者も多く、来年以降に期待が持てる結果だったと思います。参加者の皆様、運営スタッフの皆様、計測係で大活躍の高校生会の皆様、賞品の高級竿を提供して下さいました佐藤房明さん、イベントを応援して下さいました皆様、ありがとうございました。



餅つき大会・しめ飾り作り 12月16日(土) 参加者総数 200名 **真崎コミュニティセンター**

穏やかで暖かい陽気のなか、恒例の「餅つき大会・しめ飾り作り」を開催しました。前日から多くの皆様に集まっていただき、材料の下ごしらえと会場準備をおこないました。当日は朝から滝坂住宅の皆さんを中心にかまどに火を起し、3台の蒸籠で次々ともち米を蒸かし、大釜で豚汁を調理しました。若いお父さん達は、地域の皆様の指導の下、慣れない手つきで杵をふるって餅をつき、子どもたちも何度も並んで餅をつきました。多目的ホールでは、シルバー人材センターの指導員さんの指導のもと、しめ飾り作りが行われました。部活動で忙しい中、東海中の中学生もボランティアで片付けの手伝いに来てくれました。新年を迎えるための日本の伝統的な年越し行事を、三世代の住民と一緒に体験し、楽しむことができました。会場では他にも朝市の皆様による採れたて野菜の販売や、真崎の未来を考える会主催の子育て用品交換会が行われ、地域の住民の良い交流の場となりました。行事に参加した皆様、協力して頂いたたくさんの皆様、ありがとうございました。



青少年育成東海村民会議村松支部の事業に日頃からご協力いただきましてありがとうございます。村松支部は、自治会員（教育部会員）、PTA役員、学校教員で構成され、地域ぐるみで青少年の健全な育成を図ることを目的に活動しています。この事業は、地区内の皆様の一世帯300円の会費などを基に運営されております。

地区内の活動紹介

～真崎の未来を考える会、まさき会～

平成29年度村民企画提案事業『地域の宝 再発見！「真崎古墳群での古代体験」』
(7月22日、11月11日、12月2日、1月13日)



—昨年から真崎古墳群奥の古道の整備を本格化させ、昔のような姿を取り戻すことができました。この古道を含め、真崎古墳群を多くの方に知っていただく機会と子供たちが郷土愛を持てるような場として、企画しました。この活動では、火おこし体験、古墳巡り、古代米の試食を通して、日常では得られにくい体験をしていただきました。古墳巡り最後に古墳から眺める細浦は最高のご褒美です。

まさき会40周年記念式典 (11月17日)

まさき会(34名)は、「地域の融和と親睦」を会の目的として、1977年に発足しました。出身地や仕事は違えど、地域への共通した想いの下、真崎古墳行灯まつりやFOODフェスティバルなどの自治会活動へ積極的に参画しています。また、地域の美化やハイキング、そば打ち会などの親睦行事を行い、楽しい時間も作っています。随時、会員を募集しています。興味のある方は下記までご連絡ください！(tokai.masakikai@gmail.com)



<https://www.facebook.com/tokai.masakikai/>

【編集後記】

今年も3月3日にFOODフェスティバルを開催します。今回は、「食材の重さ当てクイズ」や「おみたまチンドンBAND」の演芸などの新しい取り組みをはじめ、各部会、地域団体の担当で、「食べて楽しむ」を中心としたさまざまな企画を取り入れています。スタッフだけでも、200名を超えるお祭りに成長してきました。地域の皆さんのつながり深めて行く、そのようなお祭りになってきたのかなと思います。【H.M.】

*このたよりは、村の地域づくり推進事業、真崎地区社会福祉協議会、青少年育成東海村民会議村松支部の補助金等によって発刊しました。